

No.73 (since 2012)

●●● 地下ワインセラー ヒロヤショップ ●●●

第23回ワインコンサート

～ ヴァイオリン クリストフ・コンツ & ピアノ アンナ=マグダレーナ・コーキッツ ～

ソリストと指揮者として国際的なキャリアを積む一方で、ウィーン・フィルハーモニーの首席ヴァイオリン奏者として活躍するクリストフ・コンツさんと、オーストリアの次世代を担う、若手実力派ピアニスト コーキッツさんのデュオ。

勿論、ワインもお楽しみ頂ける、特別過ぎるワインコンサート。限られた席数ではありますが、素晴らしい音楽とワインをご用意して皆様のお越しを心よりお待ちしております。



@Nancy Horowitz

主催：株式会社ヒロヤショップ 榎原崇弘

音楽もワインも、長い年月をかけて育まれます。その全てを所有することは出来ず、その楽しみやその味わいは長い時流の一瞬の経験にしかすぎません。

そんな一瞬を、皆様と共に過ごせれば・・・

今日、クラシックと言えば大きなホールで楽しむことが殆どですが、その原点はサロンコンサートにあったのではないのでしょうか。

そして、そこにはワインがあったことでしょう。

そんな古に思いを馳せ、極めて贅沢な音楽&ワインの会、「ヒロヤショップ・ワインコンサート」を企画しています。

■ヴァイオリン クリストフ・コンツ

現在、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 首席奏者(2008年～20歳で就任)

ソリストとして、指揮者のシャルル・デュトワやサー・ネヴィル・マリナー等と共演

指揮者、ソリスト、室内楽奏者として、活躍も多岐にわたる。

■ピアノ アンナ=マグダレーナ・コーキッツ

10代のころからソリストとして、トーンキュンストラ管弦楽団やモスクワヴィルトゥオーゾなどと共演

現在、エルンスト・トッホ(1887-1964)のピアノ曲全曲、

ミェチスワフ・ヴァインベルク(1919-1996)の室内楽作品のCD制作に取り組んでいる。

2017年11月2日木曜日 19時～20時30分 (開場:18時45分)

ヒロヤショップ 地下 1階 ワインセラー

181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-33-6 三京ユニオンビル地下 1 階(JR 中央線三鷹駅より徒歩 3 分)

Tel 0422-46-7691 080-5003-2012(榊原携帯)

◆参加費:6,000 円 (当日、お支払いください。)

参加ご希望の方は、10月26日までに、別紙参加お申し込み用紙にご記入のうえ、FAX(0422-46-7691)、

又はメール(sakakey@voice.ocn.ne.jp)にてご連絡を頂ければ幸いです。

満席になり次第、受付けを終了させていただきます。





■過去のヒロヤショップ・ワインコンサート

2014年9月21日 第1回 ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク(チェロ/ウィーンフィル)

2015年3月7日 第2回 遠藤真理(チェロ)

2015年5月23日 第3回 川久保賜紀(ヴァイオリン) & 遠藤真理(チェロ)

2015年9月26日 第4回 川久保賜紀(ヴァイオリン) & 三浦一馬(バンドネオン)

2016年4月9日 第5回 三浦友理枝(ピアノ)

2016年5月14日 第6回 松田理奈(ヴァイオリン) & 佐藤朋子(ピアノ)

2016年5月21日 第7回 北村源三(トランペット/元N響首席) & 北村レイ子(ピアノ)

2016年5月28日 第8回 福川伸陽(ホルン/N響首席) & 三浦友理枝(ピアノ)

2016年6月18日 第9回 松原友(テノール) & 山田剛史(ピアノ)

2016年7月16日 第10回 金丸葉子(ヴィオラ/コンサートヘボウ管) & 溝井麻佐美(ピアノ)

2016年8月1日 第11回 ベルンハルト・直樹・ヘーデンボルク(チェロ/ウィーンフィル)

2016年8月7日 第12回 川久保賜紀(ヴァイオリン)、遠藤真理(チェロ) & 三浦友理枝(ピアノ)

2016年10月3日 第13回 アレクサンダー・シトコヴェツキー(ヴァイオリン) & 三浦友理枝(ピアノ)

2016年10月21日 第14回 直樹(チェロ/ウィーンフィル) & 洋・ヘーデンボルク(ピアノ)

2016年11月21日 第15回 三浦一馬(バンドネオン)<テラス・ド・ギレム×フレンチ Dix-Huit18>

2017年1月28日 第16回 北川森央(フルート) & 三浦友理枝(ピアノ)

2017年3月25日 第17回 松田理奈(ヴァイオリン) & 佐藤朋子(ピアノ)

2017年5月20日 第18回 高木綾子、北川森央(フルート) & 三浦友理枝(ピアノ)

2017年7月22日 第19回 奥村愛(ヴァイオリン) & 三浦友理枝(ピアノ)

2017年7月29日 第20回 金丸葉子(ヴィオラ/コンサートヘボウ管)&溝井麻佐美(ピアノ)

2017年9月29日 第21回 ユリアン・洋・ヘーデンボルク(ピアノ)

2017年10月24日 第22回 村治佳織(ギター) & 遠藤真理(チェロ)

2017年11月2日 第23回 クリストフ・コンツ(ヴァイオリン/ウィーンフィル首席)

& アンナ=マグダレーナ・コーキッツ(ピアノ)

2017年11月15日 第24回 幣隆太朗(コントラバス/シュトゥットガルト放送響)

& アンナ=マグダレーナ・コーキッツ(ピアノ)



FAX:0422-46-7691

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

●メールアドレス

- 参加費 6,000 円は当日会場でお支払いください。
- お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。
- 定員になり次第締め切りさせていただきます。
- 定員を越えた場合には、こちらから連絡をさせていただきます。

■ヴァイオリン クリストフ・コンツ (Christoph Konec, violin)



「純粹なる天才 - クリストフ・コンツは
信じたがたいほどの存在感と卓越した
表現力を以ってアカデミー室内
管弦樂團と完全なる疎通を行い、
その技巧を結合させ、あらゆる方向
から衝撃を送り、我々を魅了した。」
ーブンド紙(スイス)

ハンガリー系オーストリア人のヴァイオリニスト、クリストフ・コンツは、ソリスト、室内楽奏者として国際的な経歴がある。更に、ウィーン・フィルハーモニーの首席としても活躍している。

弱冠9歳の時、アカデミー賞受賞の「レッド・ヴァイオリン」(カナダ)において神童カスパー・ヴァイス役を演じ、世界中から賞賛を受ける。

今季、クリストフ・コンツはベルリンフィルハーモニーにて二度ソリストとして登場し、ショーソンの詩曲、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲第4番を演奏する。その他、ベートーヴェンの三重協奏曲、モーツァルトのヴァイオリン協奏曲第4番、メンデルスゾーンの協奏曲をヨーロッパ各地で演奏。ウィーン国立歌劇場やエステルハーギー城での“コンツ・カルテット”、日本でのリサイタル、ウィーン楽友協会でのリサイタル等が挙げられる。

クリストフ・コンツは、指揮者としても国際的に活躍している。2014年5月には、ヴェルビエ・フェスティバル室内管弦樂團ドイツツアー、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦樂團、ウィーン・コンツェルトハウスなどで14公演を行った。また2014年のザルツブルク音楽祭ではモーツァルトを指揮した。

今季は、ベルリン・フィルハーモニーの他、メンフィス交響樂團にてアメリカ合衆国での指揮デビューを飾る。また、ヴェルビエ・フェスティバル室内管弦樂團との共演で、大好評のオール・ベートーヴェン・プログラムも継続する予定である。

一生涯立ち 1987年、ドイツはコンスタンツで、ハンガリー系オーストリアの音楽一家に生まれる。4歳でヴァイオリンを始め、わずか2年後、ウィーン音楽大学へ入学、エウゲニア・ボラツェックに師事。ウィーン音楽大学、ザルツブルク、グラーツでヨーゼフ・ヘル、イゴール・オジム、ボリス・クッシュニールに師事し、またウィーンで指揮をマーク・ストリンガーに師事。ダニエル・バレンボイム、ダニエル・ハーディングのマスタークラスによって、彼の音楽的才能はさらに豊かなものとなった。2008年、20歳の若さで、ウィーン・フィルハーモニーの第二ヴァイオリン首席奏者に就任。

12歳の時、シャルル・デュトワ指揮モンテリオール交響樂團との共演し、北米ソロデビュー。サー・ネヴィル・マリナー、ドミトリー・シツコヴェスキー、シコヴェツキー、ガボール・タカーチ・ナジ、マルク・ミンコフスキといった指揮者、またルーヴル宮音楽隊等のアンサンブルや、榮譽あるセント・マーティンアカデミーとの共演へと繋げた。このような活躍で、ヨーロッパから中東、アジア、オーストラリア、そして北・南米など多数の国で活躍するきっかけとなった。

共演者として、レオニダス・カヴァコス、ジョシュア・ベル、ヴィルド・フラング、レナウド・カブソン、アントイン・タメスティット、キム・カシュカシアン、ゴージェ・カブソン、ルドルフ・ブッフビンダー。ベルリン・フィルハーモニー管弦樂團の団員の人気チェリストである兄、シュテファン・コンツとも頻繁に共演している。兄弟で、ヨーロッパ青年音楽賞の奨学生である。

使用楽器はウィーンフィルより貸与されたジュゼッペ・ガリアーノ。ー シーズン 2016/17

【クリストフ・コンツ HP より引用】

■ピアノ アンナ=マグダレーナ・コーキッツ (Anna Magdalena Kokits, piano)



@Nancy Horowitz

1988年ウィーン生まれ。4歳でピアノを始め、2013年、アレハンドロ・ゲベロヴィチの指導のもとウィーン・コンセルヴァトリウム音楽大学を卒業。

国内外の多くのコンクールで受賞し注目を集め、10代のころからソリストとして、トーンクンストラ管弦楽団やモスクワヴィルトゥオーゾなどと共演し、イタリア、オランダ、ドイツ、ギリシャなど、欧州各国での音楽祭で客演している。また、室内楽にも活動の重点を置いている。2007年よりチェリストのアレクサンダー・ゲーベルトとデュオを結成し、ヨーロッパ各地で演奏活動を行い、2015年にはCDをリリース。またディミトリ・アシュケナージ、エドゥアルド・ブルンナー、チェン・ハエレヴィ、ベネフィッツ・クゥアルテットなどとも共演した。

アンナ・マグダレーナ・コーキッツは、特に現代音楽に力を入れており、リヒャルト・デュンサー、トマシュ・スクイヴィレス、ヘルムート・シュミディンガー、トマス・ラルヒャ、クリストフ・レンハルトといった作曲家とのコラボレーションも行なっている。さらに、知名度のあまりない、忘れられた作品の発掘にも積極的である。現在は、エルンスト・トッホ(1887-1964)のピアノ曲全曲の世界初レコーディングや、ミェチスワフ・ヴァインベルク(1919-1996)の室内楽作品のCD制作に取り組んでいる。

～ ヴァイオリン クリストフ・コンツ & ピアノ アンナ=マグダレーナ・コーキッツ ～

プログラム (Program)

♪ J.ブラームス : スケルツォ (F.A.E.ソナタより)

♪ E.グリーグ : ヴァイオリンソナタ第3番 ハ短調 作品45

* 曲目は変更になる場合もございます。

ワイン (Wine List)

☆ 未定

* ワインは変更になる場合もございます。